

鵬友会総会開催。

七月十七日。懐かしい友との再会、そして夜のハウステンボスムーンライトツアー！。



師の諸先生方を囲んでの話は、卒業しても昨日のように鮮明に思い出され、数々のエピソードに笑いを交えて花が咲いた。
会場内では日本舞踊あり、ビンゴゲームありそして種々のおいしい料理とお酒に舌鼓を打ちながら会話は後を尽きない。
「何年経つても仲間は仲間」。鵬友会の合い言葉のように。この結びつきは強いものがある
とそう実感したひとときでもあった。
そして、懇親会の後は、今回の始まりの試みではあるが、出席者の家族も参加

2年毎の祭典がまた始まった。受付に次から次ぎと現れる懐かしい顔、その度にどこからともなく「おつ、久しぶり！」という会話が飛び交い、また新しいスタートが始まる。
2時からの総会では、2年間の収支報告・活動報告に続いて事前の役員総会で承認された前田会長の続投を会場、致で可決。それに応えて、迫りくる大学の変革に対し、全力を投入するという挨拶があった。
3時30分からは懇親会。大学より来臨頂いた平山学長を始め、恩

師の諸先生方を囲んでの話は、卒業しても昨日のように鮮明に思い出され、数々のエピソードに笑いを交えて花が咲いた。
会場内では日本舞踊あり、ビンゴゲームありそして種々のおいしい料理とお酒に舌鼓を打ちながら会話は後を尽きない。
「何年経つても仲間は仲間」。鵬友会の合い言葉のように。この結びつきは強いものがある
とそう実感したひとときでもあった。
そして、懇親会の後は、今回の始まりの試みではあるが、出席者の家族も参加



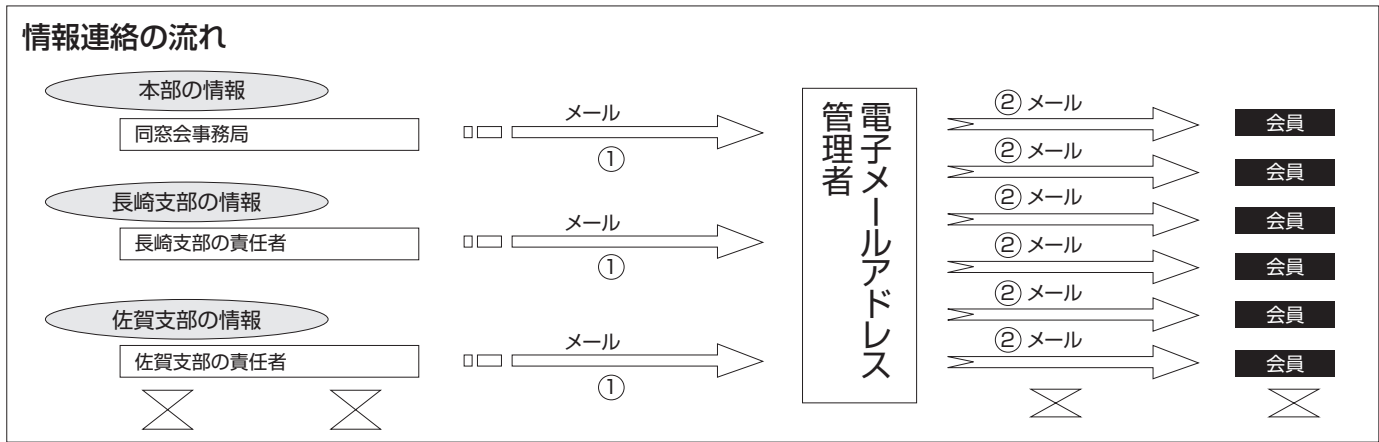
夜間ならではのミュージカルステージ、夜空に打ち上げられる花火など、猛暑の日中とは別の、味違った華麗な夜のハウステンボスが参加者には大好評だった。
毎回、会場提供や送迎バスの手配など、細かい心配りをして頂いているレオプラザホテル佐世保には感謝の念である。ありがとうござい



電子メールのアドレスをお教えてください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、昨年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議しました。つきましては、下図のような仕組みを考えましたので、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えください。
なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。

メールアドレスの管理者氏名／小室 宏・役職／関東支部支部長・アドレス／komuro@ho-yu.com



1. 本部および各支部の情報(総会等の会合連絡、その他活動の連絡)は、それぞれの責任者よりメールアドレス管理者に送られる。
2. メールアドレス管理者は、情報ごとに、受け取りを希望している会員に、その情報の責任者名をつけた上で送信する。



鵬友会会員の皆様へ

長崎県立大学学長 平山祐次
鵬友会会員の皆様には、何時も、長崎県立大学の発展のために「尽力を賜り、深くお礼申し上げます。私どもは、皆様のご支援に力を得て微力ながらも、大学の改革に努力して参りました。
その努力は少しずつ社会に認められ、ようやく明るい先が見えてきたような気が致します。

大学法人化、統合後の本部は本学内に設置。

来年からの大学法人化に当って、法人本部は本学内に設置されることとなりました。学科の増設も既に文科省に届出を済ましており、経済学科、地域政策学科、流通・経営学科の3学科構成で出発することとなります。これに伴い、教員の拡充が必要ですが、一流の人材を計画的に採用していく予定です。
また、県当局のご理解もあつて、既にプロパーの大学職員の募集を始めていますが、予想をはるかに超える応募が殺到し、嬉しい悲鳴を上げているところ
です。
一方、教学の面に於いても、小人数ゼミを1年から4年までの全学年で必修とし、2年から3年の専門学科への進学に当たっては、一定の単位数の取得を義務付けるなど、学生の勉学意欲を高める方策を大幅に取り入れました。更に、学生の有意義な



社会活動の単位化を図った「行動科目」を導入し、実践的学習の機会を飛躍的に拡大しました。このほかに、多くの改革・改善を実施しますが、これらの導入に当たっては、全教員が致して取り組んできたもので、大学としての改革への姿勢は万全であることを述べて置きたいと思ひます。
しかし、これらの一見順調そうな動きは、事の始まりに過ぎません。期待されるほど、責任は重くなります。大学改革は、ようやく準備段階を終え、これから本番に入るわけです。本学では、奇を衒うことなく、しかし果敢に、大学の王道を突き進み、間違いない改革を実行することをお約束します。
鵬友会会員の皆様には、県立大学の将来へ大きな期待をお寄せ下さい。そして、私どもは懸命に努めますので、ますますのお力添えをお願い申し上げます。

本年は11月20・21日開催、参加学生は150人以上。多数の応援者を期待。

厳しい社会状況に比例するように、年々就職セミナー参加希望者の増える状況下で、未来を担う学生の熱い想いに応えるため、鵬友会では大学と一体となり、試行錯誤しながらセミナーメニューを考えてきました。模擬面接、OB体験談、ミーティングや講演会、自己分析等。毎年これらのスケジュールを実施するにあたっては多くのスタッフが必要となりますが、応援OBスタッフの数が不足しています。先の見えない今日だからこそ、県立大OBとして就職セミナーの応援にかけつけて頂けませんか。未来を見据えて輝くまなざしをもった学生から、逆に元気をもらい、リフレッシュした自分を発見することもあるはずです！

求む、セミナー応援者

お問い合わせ・お申し込みは各支部長又は鵬友会事務局まで

益々充実した鵬友会ホームページを見ていますか？

現在、鵬友会のホームページは随時リニューアルし、最新情報が盛り沢山。デザインも、以前とは一味違ったホームページになっています。大学の近況、鵬友会の活動状況、会員の声など情報が一目で。もちろん住所変更等にもご利用いただけます。
[ホームページアドレス]
<http://homepage1.nifty.com/ho-yu/>

新・長崎県立大学と鵬友会

鵬友会会長 前田 敬二

7月初旬の北陸地方の水害に始まり8・9月になつても豪雨の被害が続いて、地球の温暖化がいよいよ危惧されているようです。不幸にも被災された方には心よりお見舞い申し上げます。
二年置きに開催される今年の鵬友会総会も滞りなく終了し、更に2年、会長として留まることになりました。ほとんどの役員もまた執行部に残って協力してもらうことになりました。改めて会員各位のご協力をお願いいたします。
さて、我々鵬友会には今年になつて嬉しい報告が2件届きました。
その第一は平成15年度の卒業生の就職率が90%をこえたことです。経済の拡大傾向が認められるなか、未だに新規雇用は手控えられており、多くの大学が70%台の就職率であるなかにあつて大いに健闘しているものであり、我々鵬友会

が永年継続してきた就職セミナー等、様々な活動がこのような姿で実ったものと確信しています。
そして、次の知らせはつい先日、独立行政法人となる長崎県立大学とシボルト大学との統合後の本部が佐世保に置かれることが報道されました。これこそが長崎県立大学がその歴史と実績を認められ今後「新・長崎県立大学」の中核として機能することを望まれたものであり、同時に今後の新大学の発展にたいして重大な責任を担わされたものと感じます。

我々鵬友会会員も新たな気概を持ち、更なる活性化を目指し新大学の発展に寄与しなければならぬと考えます。
10,000名の鵬友会会員の総力の結集こそが今我々が最も必要とするものと思ひます。

関東支部

●支部長 小室 宏
〒0429・72・7631
(自宅)
飯能市美杉台1-20-15

心地よい仲間づくりを

平成6年6月に、徳丸正雄さん(69年度入会)から関東支部長の職を引き継いで、今年で10年が過ぎました。この間、支部総会、バーベキューや花見などのレクリエーション活動、そして県立大学生の就職活動を支援するOBセミナー、大学から先生をお招きした会など、30回で173名の同窓会員の方々とお会いしました。関東支部の会員名簿では400名となっていますが、転勤・転居などによる入れ替えも考えると、3割程度の方と親交を深めたことになると思います。私が関東支部の役員(当初は会計でした)にならせていただいたのは、まさしく「多くの方々と知り合いになりたい、いろいろな話を聞かせてもらいたい」という動機からです。この文を読まれている皆様方、我が身を振り返って「知り合い」を数えてみて下さい。勤め先・取引先の知人だけという方はいらっしゃるかもしれません。中学・高校からの友人と付き合っている、子供のPTAや地域の活動を通じての知り合いがいる、という方は少ないでしょう。私のように、10年間、ただひたすら同窓会の会合に出席しただけで、173名の方と知り合いになれるのです。さらに言うなら、私はこの同窓会のメンバーとお付き合い(酒を飲んでも飲まなくても)している時はニュートラルの気持ちになっています。利害関係も上下関係もなく、個と個の対等であり、その上、それぞれの方の特色や特徴・長所・秀で

佐賀支部

●支部長 森田 茂
〒8055・46・4767
(自宅)
西松浦郡西有田町仲川636

十一月に支部総会を実施

佐賀支部長の大役を仰せつかって約2年が経過しましたが、佐賀支部独自の活動はというと、ほとんどできなかったというのが実情です。佐賀支部では2年に1回、懇親会を兼ねた総会を一通して実施しています。今年がその総会の年にあたり、11月を予定しているところです。このようなことで支部独自の報告ができず残念です。本部の役員会に数回、大学の入学式、卒業式に参加をさせて頂きましたが、中でも入学式では、学長の挨拶のなかに新入学生に激励とばされるような言葉、また、知事の挨拶のなかには、卒業式では校歌斉唱の時校歌を口にする学生は校歌を堂々と歌うようにとの言葉が印象的であった。

大分支部

●支部長 稲葉 茂雄
〒097・543・8098
(自宅)
大分市青葉台2丁目9-10

大分の食

今回は、大分の「食」についてご紹介します。大分というと、食通はすぐに「城下カレー」「関さば・関アジ」「ぶく刺し」を思い浮かべるといいます。(最近「はも料理」もメジャーになっているが)しかし、大分県人の多くが、大人になるまでそのどれとも一切無縁存在すら知らなかったという。大分県は、周防灘、太平洋にまたがると同時に、山谷の起伏が多い地でもある。しかも、そのひとつ、ひとつが小宇宙を形成してきた。江戸時代の大藩がそっくり県になった隣県と違い、十四の小藩と一領の集合体が「大分県」である。世に言う「一村一品運動」もこのような背景のなか誕生したもので、その当時大分県の「食の共通項」として選び出されたのは、かつらとして「だごじる(団子汁)」であったという。では、思いつくままに「大分の食」について触れていくことにします。●団子汁(だごじる)ここで言う「だご」とは、小麦粉に塩と水を加え、耳たぶぐらいのやわらかさのものを親指大にひらたく伸ばしたものを季節の野菜を具にいりこだしの味噌仕立て。昔から大分県のほぼ全域の基本食として受け継がれてきたもので、今も大分を代表する郷土料理である。同じ「だご」を使った料理に、やせうま(黄粉をまぶす)ほうちようやき(うどん状に伸ばす)じりやき・ひやき(丸くのばし油で焼く)がある(間食)

ているところをスムーズに受け入れ、自分の肥やしにできるので、昨年度も新たに6名の方が、この心地よい仲間に加わりました。百聞は一見にしかず。すでに日程が決まっている「17年1月14日金曜から17日月曜までのOBセミナー」をあなたのスケジュール帳に載せ、ご参加できるよう調整をはじめてください。メール受信の可能の方は、mailto:honj-u.comまで、アドレスをお知らせ下さい。11月以降に詳しいご案内を差し上げます。

●とりめし(鳥めし)大分市近郊吉野地区の郷土料理。白米が貴重だった時代のもてなし料理だった。近年保存会が設立され、地域の人達に講習。また大分のイベントには欠かせないものとなった。

●とりてん鶏肉にてんぷら衣をつけて揚げたもの(から揚げではない)。好みで酢醤油などつけて食べると、最高。

●大分には「元祖」とりてんの店がある。とりめし・とりてん、大分はなぜか鶏肉消費量が全国一なのだ。

●りゅうきゅう大分なのに琉球。関さばなら最高。新鮮なさは刺身にして、酒・醤油・小葱のみじん切りである。そのままでよし、白飯にかければ「りゅうきゅう丼」、茶湯をかければ「りゅうきゅう茶漬け」。その昔大分の漁師が、琉球の漁師に聞いたそうなので、今はなぜか「大分名物」。

●関さば・関アジ(佐賀関町)今や全国区の高級魚。大分ではスーパーでも売っている。豊後水道の一本釣り。やはり「刺身」が最高。

●ふぐ刺し(臼杵市・別府市)「ふぐは食いたし、命は惜しし」ふぐ料理を下関に許可したのは伊藤博文。その頃から豊後水道は産地。「ふぐ」は大分(臼杵)が本場。

●城下カレー(日出町)別府湾に清水への湧く所あり、そこから繁殖。將軍様への献上品。刺身・から揚げ・煮付・吸い物、すべて美味。

●頭料理(竹田市)竹田は阿蘇に近い内陸地方。大魚を無塩で利用。頭を含め、全てを食す。名産のかぼすが味を引立てる。

●みかん(津久見市)保元二年(一一五七)から続く産地の町。津久見はみかん・セメントと野球の町。●しいたけ(なば)生産量・品質とも日本一を誇る。かげに「豊後なば山師」の技術あり。●麦焼酎これも全国区、「下町のナポレオンいちいちこ」(宇佐市)「二階堂むぎ」

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭
〒8062・886・0358
(自宅)
福岡市西区豪徳寺2-4-303

ふくおか佐世保会と協力

福岡支部として、こんなに忙しかったことはなかったと思える程動き回った年でした。発端は昨年の8月佐世保市福岡事務所が開設された時から始まりました。式典に招かれた佐世保市に拠点を置く高校・大学・高専の同窓会役員に佐世保会の立ち上げを光武佐世保市長が要請。なりゆきで賛成をしたものの、その後が大変。各同窓会の佐世保に対する温度差

また、岡崎先生の還暦のお祝いには、同窓生多数が参加し、非常に盛り上がりつつあったことには嬉しい限りです。前にも述べましたが、佐賀支部の総会を11月に実施したいと考えています。佐賀県在住の同窓生は多数参加していただきたいと思えます。期日、場所等決定しましたら同窓会事務局のホームページに掲載するとともに、案内の通知も出します。これまで参加常連の方は勿論ですが、これまではなかなか参加できなかった方も是非出席され、おいに盛り上げ、新睦を深めていただくことを心より願うところです。

全国各地で おおとり達が 翔いていきます

(日出町)が、焼酎ブームに火をつけた。清酒の蔵元も二十九ヶ所と多い。紙面の都合でこれ位にします。

●今年も「郷土料理を食べる会」を十月九日(土)に「県南」で開催しました。

中国支部

●支部長 平岡 弘幸
〒0822・264・9233
(自宅)
広島市西区橋本町4丁目1-20

支部総会を開催

第5回鵬友会中国支部総会を1月13日(土)12:00より、弥生会館(広島駅より徒歩5分)にて開催致します。当日の懇親会では、皆様のご卒業された時より大きく変貌を遂げている県立大学の現状をビデオで紹介したり、学内で現在活躍している先輩にご報告を頂くことになりました。また、お土産に佐世保の懐かしいお菓子類をと考えています。ぜひ、たくさんの方にお集まり頂き、懐かしい話や夫々の近況をお聞かせ頂けることを楽しみにしています。よろしく、お願い致します。

は思いのほか大きく、足並みが揃わない。会の名前一つ決定するにも何回も会合が必要な状態。結果的には6月6日の設立総会迄に30回程度の全体役員会、さらに個々の分科会20回以上、そしてそれに対する資料づくりとほぼ毎日なにかしかの係わりを持つている状態が続いた。その甲斐あってか全員の思いも統一されて、入会者750余名に。そして6月6日(日)PM4:00、博多全日空ホテル・万葉の間。参加人数400余名。設立総会の開会宣言を皮切りに始まった「在福岡佐世保人会」は、ここに一つの節目を迎えた。

佐世保市長光武頭氏を始め、佐世保市役所側も全面的にバックアップ。初代会長は佐世保市に拠点を置く(株)ブレナスの会長塩井末幸氏が快く受けてくださり最高の会長を迎えることができた。

総会は規約に始まる多々の審議も滞り無く終了。懇親会の部では、会場から溢れんばかりの参加者で賑わい、塩井会長・佐世保市長あいさつ、鏡開きと進み、会の愛称を決める投票で「ふくおか佐世保会」に決定。10名に城島選手グッズなど賞品をプレゼント。



中です。大学法人化も本部が本部に決定したとの新聞記事を読み、嬉しくなってきました。ちよつと頑張っている福岡支部です。

長崎支部

●支部長 古川 信利
〒0958・26・6477
(自宅)
長崎市五島町5-34-1110

粘り強い活動を

長崎支部は1月31日に長崎市の「セントポール長崎」で恒例の新年会を開きました。大学から星野事務局長、本部から前田会長に出席いただき、元大学職員の浜田さん、野田さん、馬場さんにも出席いただきました。支部としての活動はこの新年会しかなかったかもしれませんが、粘り強く続けていくつもりです。

関西支部

●支部長 星 憲男
〒0722・765・5750
(自宅)
高石市千代甲1-27-7

支部総会終了のお知らせ

10月9日、大阪新阪急ホテルにて出席者10名、内2名の初参加で開催しました。本部総会、大学の近況、当支部異業種交流会等の報告をすませ、新たに平成11年度卒新田優子氏の役員入りを決定しました。親睦会では、先生方や下宿生活の話が中心になり、佐世保については、小学生女兒事件や村上龍の映画「69」に及びました。

当支部は関西在住の会員が対象です。従って出身地は問いません。友人で会報や支部総会案内状の存在を知らないという方がありましたら、本人に代わって、当方に連絡いただければ幸いです。会報が到着したらまず、大学のホームページにアクセスし、お気に入り。に追加することにて解散しました。

47年度卒 金子 順興
TEL FAX 078・794・1053
Email: junkou@msg.biglobe.ne.jp



平成16年7月17日

平成16年3月末日

平成16年度予算

平成15年度予算及び決算報告書

(収入の部)

(単位：円)

	科 目	予算金額	備 考
1	会費（卒業生）	240,000	@12,000×20名
2	会費（新入生）	6,012,000	@12,000×501名
3	名簿代	—	
4	預金利息	1,500	
5	雑収入	300,000	激励会会費 30,000
	(小 計)	6,553,500	
	前年度繰越金	485,072	
	合 計	7,038,572	

(収入の部)

(単位：円)

	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	会費（卒業生）	360,000	216,000	@12,000×18名
2	会費（新入生）	5,928,000	5,928,000	@12,000×494名
3	名簿代	—	—	
4	預金利息	1,500	1,314	
5	雑収入	43,000	43,000	激励会会費43,000
	(小 計)	6,332,500	6,188,314	
	前年度繰越金	139,188	139,188	
	合 計	6,471,688	6,327,502	

(支出の部)

	科 目	予算金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	
2	卒業記念品代	300,000	
3	通信費	1,300,000	
4	人件費	900,000	
5	支部活動費	700,000	
6	旅費交通費	100,000	
7	渉外費	350,000	
8	事務局費	500,000	
9	印刷費	800,000	
10	鵬友会基金特別積金	1,000	
11	40周年積立金	300	
12	留学生関係費	100,000	
13	会議費	100,000	
14	総会費	1,000,000	
15	雑 費	87,272	
16	部活援助費	250,000	
17	就職活動援助費	300,000	
	(小 計)	7,038,572	
	次年度繰越金	—	
	合 計	7,038,572	

(支出の部)

	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	250,000	
2	卒業記念品代	300,000	265,550	
3	通信費	1,000,000	926,631	
4	人件費	900,000	1,073,200	
5	支部活動費	700,000	700,000	
6	旅費交通費	150,000	143,630	
7	渉外費	350,000	280,595	
8	事務局費	300,000	227,746	
9	印刷費	800,000	663,900	
10	鵬友会基金特別積金	400,000	400,970	
11	40周年積立金	—	296	
12	留学生関係費	350,000	380,182	
13	会議費	100,000	65,496	
14	総会費	300,000	227,808	
15	雑 費	21,688	36,426	
16	部活援助費	250,000	—	
17	就職活動援助費	300,000	200,000	
	(小 計)	6,471,688	5,842,430	
	次年度繰越金	—	485,072	
	合 計	6,471,688	6,327,502	

《収入合計》 6,327,572—《支出合計》 5,842,430＝《次年度繰越金》 485,072

平成16年6月25日 鵬友会会長 前田 敬一

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。

会計監査 宮地 学 ・千北 裕吉

平成16年3月末日

平成16年3月末日

平成15年度貸借対照表

平成15年度財産目録

(単位：円)

資産の部		負債・資本の部	
現 金	83,405	40周年積立金	1,232,710
普通預金	381,667	記念品積立金	—
定期預金	5,671,925	鵬友会基金特別積立金	4,439,215
出資金	20,000	繰越金	485,072
計	6,156,997	計	6,156,997

(単位：円)

預金種目	金 額	預 入 先
現 金	83,405	
普通預金	381,667	親和銀行本店営業部
	—	親和銀行相浦出張所
定期預金	5,671,925	親和銀行本店営業部
預金合計	6,136,997	
出資金	20,000	長崎県立大学生活協同組合
合 計	6,156,997	

同窓会は終身会費で運営されています。会費納入にご協力下さい。